

子どもを育む大人たちをつなぐ 府中市PTA連合会新聞「ぱる」

No.
68

- 発行/府中市PTA連合会
- 発行日/令和4年12月(第68号)
- 編集・作成/府中市PTA連合会

※PAL「pa:l」(ぱる)とは中間の意味です。

もくじ

今年度の各学校行事

編集後記

今年度ふれあい委員長となり、月1回PTA連合会に出席し各校のPTA会長さんのお話を聞く中で、コロナ禍ではありますが、各校様々な工夫、対策をし学校行事運営にあたられているお話を沢山聞かせて頂きました。とても子供たちのことを大切にされているPTA会長ばかりでした。

PALの作成に関して、7月に第1回ふれあい委員会を開催。フレンドリーな方々で安心いたしました。今学期は各校のホームページへのPAL掲載。今までは違う掲載方法に悩みましたが委員の皆さんで案を出し合い、今回の掲載に至りました。ご意見、ご感想をよろしくお願い致します。

府中市PTA連合会ふれあい委員長
松山 亜弓美

府中市PTA連合会活動報告



「ぱる」の発行心からお喜び申し上げます。皆様におかれましては日ごろから各校のPTA活動ありがとうございます。また、PTA連合会の活動に対してもご理解、ご協力ありがとうございます。こうして各学校の取組が一目で分かる資料が発行されることは、他校での取組に刺激を貰うとともに自校の活動に自信が持てるなど有意義なことであると思います。コロナ禍での活動が復活しつつあることに勇気もらっています。発行に当たりご尽力いただいた役員の皆様に心からお礼申し上げます。さて、市P連では、先日市長、教育長、市議会議長に各校の要望とともに市P連の要望書を手渡すとともに、保護者、教職員の皆様の声を直接訴えてまいりました。従来からある生命、安全に関する問題に加え、コロナ禍やweb会議・授業のデジタル化など子供を取り巻く環境は大きく変わっています。こうした環境が改善されるよう、引き続き尽力してまいりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。なお、令和5年8月には、広島県で日本PTA全国大会が開催されます。県内のPTAの力を合わせて成功させましょう！よろしくお願い致します。

府中市PTA連合会 会長 楨本 直揮

南小学校



南小学校では、10月15日(土)に3年ぶりの相撲大会を行いました。3年間全く使われていなかった相撲場はかなり荒れた状態でしたが、地域の方やPTA・保護者にご協力頂き整備を行い、無事に開催することが出来ました。コロナ禍ということで、取り組みの前後に消毒をする・マスクをしたまま取り組む等の工夫をしながら各学年男女別で予選を行い勝ち残った児童の決勝戦を行いました。真剣に取り組む子どもたちにたくさんの声援や拍手が上がりとても盛り上がりました。そして今年はPTA会長の働きかけで地域の方々、6年生の児童・保護者の協力により、手作りの化粧回しを新調しました。相撲クラブの6年生の代表児童が新しい化粧回しを着けて土俵入りのパフォーマンスをしてくれました。来年以降も引き続き南小学校の伝統の相撲大会を開催できるよう取り組んでいきたいと思えます。

旭小学校

旭小学校では、今年3年ぶりに全員が集合しての運動会を開催しました。1～3年生までは初めて全員で行う運動会で、全ての種目に気合十分で臨みました。練習の成果を発揮していました。4～6年生も久しぶりの全員が集合する運動会をととても盛り上げてくれていました。子ども達は、徒競走や大玉転がし、玉入れ、綱引き、ダンス、紅白リレー等で練習の成果を全力で出し切りました。また、今年度は全員が集合する運動会ということもあり、親子競技も行いました。5・6年生の親子競技でもある綱引きの、子どもvs保護者では容赦なく保護者の圧勝！大変盛り上がりました！！(笑) 6年生は、小学校生活最後の運動会。トランペット鼓隊の演奏しながら先頭で、入場してきた6年生はとても堂々としてそれに続く下級生たちの良いお手本となっていました。この運動会を開催するにあたって、先生・PTA役員・保護者一体となって子供達の為に、無事開催できた事を、PTA役員として嬉しく思い、これからも子供達の為に、たくさんの思い出作りが出来るよう、一丸となりサポートしていきたいと思えます！



府中学園

府中学園では今年度も、新型コロナウイルス感染症の防止対策を行いながら、様々な行事や活動を実施しています。5月に開催した「体育祭」は、当初「体育参観日」として行う予定でしたが、9年生の熱い思いにより「体育祭」として実現しました。9年生を中心に、児童生徒の心がひとつになった一日でした。また、7月には備後国府まつりに合わせて、『灯籠まつり in府中学園』を開催しました。「異学年とのつながり・地域の方とのつながりをつくる」を合言葉に、自分たちの思いや願いを灯籠に表現しました。一方で、毎年夏の恒例行事となっている、全児童生徒と保護者、先生方での環境整備は、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度も中止となりました。新しい生活様式が定着しつつありますが、いろいろな工夫を重ねながら、学校、地域、保護者が連携して、子どもたちの学びや活動のサポートをしていきたいと思えます。



府中明郷学園



府中明郷学園は、コミュニティ・スクールとして「地域の中に学校を学校の中に地域を」というスローガンを掲げており、PTA活動もまた地域の方々とともにあります。今年度も、PTAでは体育祭や文化祭、学びフェスタの運営協力や、救急法講習会、環境整備、制服リサイクルなどの活動を行っています。10月の文化祭では、「Be together as one～心をついに～」をテーマに、各学年がこれまでの学習の成果を披露しました。また、図書ボランティアグループ本読堂(ほんよみどう)の皆さんが、毎月絵本の読み語りをされており、児童に好評です。PTAはこの本読堂の取組を広島県読書推進活動協議会に推薦しました。府中明郷学園のホームページでは、学校ニュースをはじめ、コミュニティ・スクール、模擬会社LinkS、むらさきラボ、コミュニティ・スクールなど様々な取組が紹介されています。ぜひご覧になって下さい。

上下北小学校

5月2日(月)、PTC活動として「親子で歩こう！ 大好き！ふるさと上下」を行いました。この活動を始めたきっかけは、コミュニティ・スクール活動として、生活科や総合的な学習の時間に子どもたちが取り組んでいる「ふるさと上下」のよさを知る「学び」を子どもたちだけでなく、保護者にも知ってもらおうことで、「ふるさと上下」のよさを発見、再発見してもらい、親子で「ふるさと上下」への理解や愛着を深めてほしいという思いからでした。

「ふるさと上下」の観光に詳しい地域の方に相談して、学年別のコースを設定しました。また、それぞれのコースのガイドもいただき、「ふるさと上下」を3つのコースに分かれて名所を巡りました。大人は普段行くことのない名所が多く、大変貴重な体験となりました。コロナ禍でいろいろな行事が縮小、中止となる昨今、子どもと久しぶりにお弁当を食べたり、一緒に上下のまちを歩いて散策したりしたことがとてもよい思い出となりました。地域、学校、保護者が協力し、今まで学年ごとに行ってきたPTC活動とは、一味も二味も違う活動となりました。



上下南小学校



上下南小学校の校舎の裏側には矢多田川が流れています。春にはアユの稚魚の放流、夏には川遊びと、子ども達の学びの場となっています。今年度も6月にCSとPTA活動の一環として、矢多田川の清掃を行いました。きれいになった川では、今年もホタルの姿を見ることができました。学校行事では、感染対策をとりながら、参観日や運動会、PTCなどを行うことができました。6月には、あやめ祭り、7月には備後国府まつりに、5・6年生が出演し、和太鼓の演奏をしました。大勢の人前で、日頃の練習の成果を披露することができました。10月の参観日には、CSとPTAの合同熟議を行いました。子ども達へアンケートを取り、その結果について、家庭、地域、学校の視点から話し合いました。いまだ続くコロナ禍ですが、先生方をはじめ多くの方々の配慮のもと、出来る行事が増えていき、子ども達の笑顔を目にする機会が増えてきました。皆様のご協力に感謝しながら、これからもPTA活動に取り組んでいきたいと思ひます。

上下中学校



上下中学校は今年度91名の生徒で元気いっぱい活動しています！コロナ禍の制限されていた時より今年度は沢山の行事が開催できたのではないかと思います。体育祭、上下学園清掃活動、「来てつかあさい♡上下夏祭り」上下の商店街で行われたお祭りに出店、2年生参加となる職場体験学習、文化祭に府中学びフェスタのライブ参加、修学旅行など、子供達にとって有意義になる体験が出来ていると実感します。そして11月10日には、3年生が上下商店街の中にある飲食店だった場所をお借りして「たび恋カフェ」1日限定での出店をしました。商人の町上下、おもてなしの心が自然と身に付いている上下の子供達。コロナ禍で賑わいが少なくなって再び上下を盛り上げようと頑張っている地域の方々と、上下学園の結び付きはとても強く誇れるものです。これからも保護者も一体となり支えていきたいと思ひます。



第一中学校

第一中学校では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限配慮しながら、行事や活動に取り組んでいます。まず、5月の体育大会では、中学3年生の保護者のみ参観、中学1・2年生の保護者はオンライン配信という方法を取られました。声援は控え、見守る応援でしたが、実際に見た中学3年生の勇姿は、立派でした。また、6月には、PTA役員・CS委員が生徒会執行部役員と、学校教育目標にある「世界」「地域」について話し合う場を持ちました。大人予想に反する回答もあり、驚きました。続いて、11月の文化祭では、「旋律～最も美しい瞬間に～」というテーマのもと、各学年のステージ発表にあわせて、保護者入替制で行われました。実施できなかった行事や活動もありますが、目的と方法を見据え学校・地域と手を携え、子供たちにとってより良い関わりを築いていきたいと思ひます。



栗生小学校

来年の創立150周年をひかえ、栗生小学校は、地域と学校が一体となり熱く盛り上がっています。コロナ禍ですが、先生方による創意工夫によりPTC活動や行事がスムーズに行えました。その中の「マラソン大会」についてご紹介します。

栗生小のマラソン大会は、なんと言っても地域を挙げての応援が特徴です。ボランティアを募り、児童の安全確保のため、練習の時から色々なポイントに立って児童の安全を見守りました。マラソン大会当日は、地域の方と保護者の方が多数応援してくださり、盛り上がりました。沿道からは、毎年恒例の手作り栗ティー応援旗を持った地域の方々に、「頑張れ～！」と力いっぱい応援してもらえるので、子ども達はやる気をもって最後まで走りきることができました。マラソン大会の締めくくりは、表彰式です。各学年の男女1位になった児童は、PTA会長から、金メダルならぬクリッティの「木メダル」がもらえます。見に来られなかった保護者の方やもう一度頑張りを見たい方に向けて、マラソン大会の映像を編集し「クリッティLINE」で配信をしました。このマラソンのように、これからも栗生小学校は地域と共に走り続けます。



国府小学校



今年度は、コロナ禍の中制限はあったものの、久しぶりに行える行事も多く、充実した学習活動を行うことができました。初めて入れ替え制を取り入れ、3年ぶりに保護者観覧で行った運動会では、どの学年も一生懸命体全体を動かし、リズムに合わせて身体表現していました。児童の半分は初めての学習だった水泳授業も行いました。水慣れから始め、バタ足やクロール等、泳ぎにもチャレンジしました。また、地域行事に参加することがほとんどなくなってしまった中、3年ぶり3度目の「大ラジオ体操」が行われました。地域の方と一緒に登校し、ラジオ体操第一と第二を行いました。今までで一番多い参加者でした。ここでお披露目することとなったのは、昭和42年度卒業生の卒業記念品だった「朝礼台」です。月日が経ち古くなってしまったものを、CS運営協議会を中心に地域の方々に国府カラーの赤に修理していただきました。「大切に使ってね。」とお声がけいただきました。10月にはバザーを開催しました。保護者や児童の協力もあり、たくさんの商品が集まりました。来られた方々は楽しそうに商品を見ながら購入していました。保護者のみということでの開催でしたが、大変にぎわっていました。